



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和 2年 12月 1日

発行者 園長 末永 寿宣

12月号

自然物を活用した創作活動

～自然生命を尊重し、豊かな表現力を育成する～

園長 末永 寿宣

秋の季節には、どんぐりや落ち葉などさまざまな素材が身近にあふれています。子どもたちが自然を発見したり、季節を感じられたりするような、自然物を使った制作を取り入れています。また、自然物を活用すれば、季節を感じるだけでなく、匂いや感触などの五感を刺激する機会にもなるでしょう。

今月号では、子どもたちと秋にぴったりの自然物を使った制作の様子をご紹介します。



3歳 もも組

○初めての遠足で、暖かい陽射しの中、のんびりと散策したりどんぐりを拾ったりと、楽しい一日を過ごしました。おうちの方と「来たことあるよ!」と、ニコニコ笑顔で教えてくれる子もいました。



○遠足で拾ってきたどんぐりをペットボトルに入れ、どんぐりマラカスを作りました。

4歳 たんぽぽ組



○ダンボールの短冊を組み合わせて作った土台に、どんぐりや千日紅のドライフラワーを飾り付けて壁飾りを制作しました。

○ダンボールには接着剤を薄く塗り広げる、立体物を接着するときにはたっぷりを使うなど、接着剤の使い分けを経験しました。



5歳 すみれ組

○遠足で拾ったドングリなどの木の実を、種類別に分けて集めました。細長いもの、まん丸で大きいもの、小さくて転がり易そうなものなど、形を表す言葉は様々です。豊かな言葉に触れながら、子どもたちの語彙を増やしていきます。



○今まで乾燥させていたトウモロコシの実を芯から外しました。「硬いなあ」と言いながら、一粒ずつ丁寧に取っていました。



○心地よい風に吹かれながら、ドングリを使ってのままごと遊びを楽しみます。焼き網の上にたくさん並べたドングリは、大人には焼き栗に見えますが、子どもたちには何かのご馳走に見えるようです。

○穏やかなやり取りは、豊かな心を育てます。自分たちで拾ってきたドングリを使って、食卓を彩り、素敵なランチタイムを楽しみました。



○イモ掘りの時に蒔いておいたリースが乾燥しました。隙間が空いてふわふわしているので、好きな色のモールで飾りながら留めていきます。モールをねじるには手先の動きと根気が必要です。子どもたちは、飾りを増やす楽しさを感じていました。



○リースだけでは物足りずに、ドングリに顔を描いて木の枝に乗せ、オブジェも作り始めました。興味のあることに、とことん取り組む時間が、豊かな心を育てます。

このように、幼稚園での自然物を活用した造形遊びは、小学校の図画工作で学習する「造形遊び」という内容につながります。それは、活動内容の変化の自由度や幅、活動の発展性などが、子どもたち自身に開かれていきます。

今後も、自然生命を尊重し、豊かな表現力を育成するため、自然物を活用した創作活動を推進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。